



「CS」は、コミュニティ・スクールの略称です。

若基小CSだより

第3号

令和6年12月12日

◆◆第3回学校運営協議会を開催しました◆◆

12月11日(水)に第3回目の学校運営協議会を行いました。学習状況調査、学校評価などについて話し合いを行いました。



【学習状況調査の結果について】

1学期に実施した全国学力・学習状況調査(6年生)と佐賀県学力調査(5年生)の結果をもとに、56年生の課題について話し合いをしました。

- ・56年生共に、表現する力に課題がある。これは、グローバル社会における日本の課題と共通していると思う。
- ・思っていることはあっても言葉として発することが難しい子供が多いので、説明する力が課題になってしまうと考えられる。
- ・学校では、校内研究で、書く・話すなどの表現力を高めることに力を入れている。視点を与えて振り返りを書く、子供同士で話し合う、考えをタブレットで入力するなど、様々な形で自分の考えを表現する場を設けている。
- ・考えを深めたり、コミュニケーション力を高めたりするためには、長い期間が必要である。結果がすぐに出ないが継続して取り組むことが大切。
- ・子供は語彙力が少ないので、ある言葉を別の言葉で表現するような活動を取り入れてはどうか。(例えば、緑色や楽しいを別の言葉を使って表す)

【学校評価(中間評価)について】

ふるさとを愛する児童の育成

「基山のよさを低学年1つ以上、中学年3つ以上、高学年5つ以上言える児童80%以上」

アンケートの結果、上記の評価項目に対して肯定的な回答をした児童が77%で、目標にあと少し届かなかったのでC評価でした。そこで、この項目について意見交換をしました。

- ・「よさ」は他と比較しないと分からない。ずっと基山町で生活している子供たちは、「当たり前」と捉えているのではないか。
- ・「基山町のよさ」ではなく「基山町のすきなところ」と質問してもよいのではないか。
- ・基山町以外に住んでいる先生が感じる基山町のよさを子供たちに伝えると、子供たちが当たり前と思っていることをよさと捉えることができるのではないか。
- ・基山カルタをいただいているので、基山カルタをしながら、ふるさとのよさを感じ取らせていきたい。

【もちつきについて】

今年度、久しぶりにPTA行事としてもちつきを行いましたので、実施してみてどうだったのか意見を出し合いました。1番多かった意見は、子供たちがとても喜んでいたのでよかったというものでした。次に、もちつきにかかった費用について話をしました。他にも、地域の方、実行委員を引き受けてくださった保護者の方、学校職員など、多くの善意に支えられて実施することができたので、来年度以降も実施するのであれば、持続可能なもちつきになるように整理していく必要があるという意見も出ました。



今年度、もちつきの実施にあたり協力してくださった地域の方々、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

